

第2回ウイズガス 全国親子クッキングコンテスト

レポート

メニューもチームワークも ますますレベルアップ



2009年2月1日に第2回ウイズガス全国親子クッキングコンテスト全国大会が東京・新宿の東京ガス新宿ショールームで全国8ブロックの地区代表・12組が集まり全国大会が開催されました。



言葉を交わさずともゴールを目指して協力!

応募総数なんと4134組。全国8ブロック90箇所以上で開催されてきた地区予選大会、地区決勝大会を勝ち抜いてきた12組24名の親子たちが、この日東京に集結。どのチームも抜群のチームワークで、「我が家のばんごはん」をテーマとしたオリジナルメニューの調理に挑みました。親子でお互いの作業の進み具合を確認する等、協力体制はばっちり。大会当日までに親子で話し合っ、たくさんの練習を重ねてきたことがうかがえました。



親子で我が家の料理をすると楽しさがあふれる!

魚を上手に扱うお子さんが多かったことも印象的でした。出刃包丁でゼイゴを取り、アジを手開きにする女の子。カレイの切り身に出汁をかけてホイル焼きにする男の子。圧巻は、アナゴを専用の道具と包丁できれいにさばいた女の子。大人顔負けの職人技です。



「今日はみなさんから“気”が出ているのを感じました。親子のコミュニケーションのよさ、絆の強さは、いままで見たコンテストの中でも一番でした」と服部幸應さん。



出場者みんな揃って の記念撮影でパチリ!

表彰式の前には、「子供の未来のために語る食育セミナー」が開催され、世界が注目する食育の意義、炎の調理と脳の活性化について、食料自給率と地産地消、料理と学習の関係など、子供と食の現状のさまざまなテーマについて語られました。